

学校だより



春里



平成29年度 7月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

中学生にとってのスマートフォン

校長 松井秀史

スマホやパソコン等とても便利なものですが、使い方を間違えると様々な危険が身近になってしまいます。学校でも、携帯電話等によるトラブルが増えています。友人に相談をしたつもりが仲間外れを作る原因となりいじめとなってしてしまうこともあります。また、本校生徒以外の人と知り合い、トラブルに巻き込まれる危険もあります。私は中学生には必要ないと思っていますが、現状は多くの生徒が使っているようです。携帯電話等を中学生に使わせる場合は、優れた面だけでなく、危険な部分もしっかり理解しての使用を心がけさせてください。現在、日本では中学生名義でスマホ等携帯電話を購入することはできません。携帯電話等を子供たちに渡すときには必ず使い方の指導をお願いします。昨年も学校だよりで紹介しましたが、再度以下の「約束」を載せました。よろしくお願いいたします。

＜スマホを使うための約束＞

以下に抜粋した内容は、クリスマスの日に米国のあるお母さんが13歳の息子にスマートフォンをプレゼントとしてあげたときに一緒に渡した手紙に書かれた「18の約束」の内容(抜粋)で、米国の新聞に取り上げられ、日本でも一時期話題になったものです。

このプレゼントを受け取ったからにはそれぞれの約束を守ってもらいます。これらのことが守れないようならすぐにとりあげますよ。

○これは私のスマホです。私が買って、あなたに貸してあげています。

○学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00にママかパパに渡しなさい。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSNSもしないこと。

○学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。

会話は生きる上で大事なスキルです。

○このテク/ロジーを使って嘘をついたり人を馬鹿にしたりしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしてはいけません。

○人に面と向かって言えないことをこのスマホを使って言わない・書かないでください。

○ポルノは禁止です。

○公共の場では電源を切るか、サイレンスモードにしなさい。特にレストラン、映画館など他の人としゃべっているときは気をつけなさい。

○あなたや他人のプライベートな写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。

今のあなたは賢いですが、そういうことがしたくなる時期がやってきます。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいです。

○スマホなしで生活することを覚え、携帯を失うことを怖がるような依存症になってはいけません。

参考にしていただければと思います。



＜ちょっとひとこと・・・＞

先日電車に乗った時、座っている乗客全員がスマホに熱中していました。車窓の夕日に目をやるでもなく、もちろん会話もなく・・・。違和感を感じるのは私だけなのでしょう。中学校時代は、いろいろなことに興味を持ち、自分の可能性を広げる大切な時期です。体も心も大人に近づいてきてはいるものの、まだまだ野放しに任せるには早すぎます。かけがえのない経験を積ませることが大切ですが、取り返しのつかない経験では困ります。子供たちに「何が必要で何がまだ不必要なのか」「注意点はどこなのか」は周りの大人が少し考え、指導してあげなくては行けないのでしょうか。子供たちの輝かしい未来のために！

